

《ブリュッセル・ミレニアム国際ドキュメンタリー映画祭 2015》

特別人権賞&観客賞ダブル受賞 他多数

『女を修理する男』

一人の医師の勇気ある行動が世界を動かし4万人以上の性暴力被害女性を治療した——



Introduction

コンゴ人婦人科医デニ・ムクウェゲ医師の命がけの治療を追ったドキュメンタリー

コンゴ民主共和国で性的被害にあった女性達を治療するデニ・ムクウェゲ医師は、2012年に脅迫を受け一時は海外へ。しかし翌年には命の危険を冒して再びコンゴに戻る。そして命がけの治療を再開する——

「女性と少女にとって世界最悪の場所」とも描写されるコンゴ東部

コンゴ戦争が勃発してから20年が経つ。その間、「紛争鉱物」の実態に関する認知は高まり、国際社会はその予防策に取り組んできた。しかしコンゴ東部の状況は改善されないまま、この地域に住む人々の苦しみは続き、大勢の女性、少女、そして男性が性暴力の被害にあっている。戦争鉱物、グローバル戦争経済と組織的な性暴力は相互関係にあるが、その事実はほとんど知られていない。本作品は、暗殺未遂にあいながらも、医療、心理的、そして司法的な手段を通して、婦人科医のデニ・ムクウェゲ医師が性暴力の生存者を献身的に治療する姿を映している。それに加えて、生存者の衝撃的な証言、加害者の不処罰の問題、希望に向かって活動する女性団体、そしてこの悲劇の背景にある「戦争鉱物」の実態も描かれている。

「ムクウェゲ医師は私にとって父親のような存在」とある患者は話す

ムクウェゲ医師は1998年、コンゴ東部のブカブにてパンジー病院を設立し、これまで4万人以上のレイプ被害者を治療し、精神的ケアを施し続けてきた。それ以外に、国連本部をはじめ世界各地でレイプ被害に関する演説を行い、女性の人権尊重を訴えてきた。その活動が国際社会で評価され、これまで国連人権賞（2008年）、ヒラリー・クリントン賞（2014年）、サハロフ賞（2014年）などを受賞した。ノーベル平和賞受賞者の有力候補にも数回挙がっており、2016年5月のタイム誌に、「最も影響力のある100人」に選ばれた。

ムクウェゲ医師の受賞歴：

国連人権賞（2008年） レジオン・ドヌール勲章（2009年） ライト・ライブリッド賞（2013年）

ヒラリー・クリントン賞（2014年） サハロフ賞（2014年） ソウル平和賞（2016年）

ノーベル平和賞（2018年）

他多数



監督：ティエリー・ミシェル 作家：コレット・ブラックマン、ティエリー・ミシェル

脚本：ティエリー・ミシェル、コレット・ブラックマン、クリスティーヌ・ピロ

2015年/ベルギー/112分 配給：ユナイテッドピープル

字幕：八角幸雄/監修：米川正子

協力：コンゴの性暴力と紛争を考える会、日本映像翻訳アカデミー、クラウドファンディングの支援者の皆様

https://www.cinemo.info/movie_detail.html?ck=58